

骨盤臓器脱の手術を受けられる










様へ

目標

- 良好な状態で手術が受けられ、合併症なく経過する
- 退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	退院日(7日目)	
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		○性器出血が少量で新たな出血がみられない ○創部痛が緩和し、苦痛が最小限で経過する				○排ガスがある ○排便がある		○カテーテル抜去後、尿意があり残尿が50ml以下となる ○排尿時痛、残尿感、発熱がみられない ○退院後の生活上の注意点が理解できる		
検査			血液と尿の検査を行います 					血液の検査を行います 			
食事	制限ありません 21時以降は 絶飲食となります 朝食は 自宅で  	絶飲食です 	昼食から 流動食となります	朝食から 五分粥となります	朝食から 全粥となります	朝食から 普通食となります				診察の結果、問題なければ朝食後退院となります	
処置・観察	排尿後に膀胱内の残尿量を測定します(2回) お臍の処置と除毛を行います 体温・脈拍・血圧を測定します 就寝前に浣腸をいたします 	朝7:00頃に浣腸をいたします 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します 	術後酸素マスクがついています 手術後は頻回に体温・脈拍・血圧を測定します 	体温・脈拍・血圧を測定します 	排ガスがなければ腸を動かす注射をします 排便がなければ下剤を服用する事があります 	便通がない場合浣腸をいたします 尿管を抜去します 	排尿のたびに尿量を計り看護師に伝えてください 		診察をします 	退院時にリストバンドを外します 	
注射・内服	常用薬のある方は看護師に申し出てください 就寝前に下剤・眠剤を服用します 	手術前に点滴を行います  点滴用の針を挿入します	手術後の点滴があります  ※痛み、むかつきなどがあれば看護師に申し出てください	点滴が朝、夕にあります 	点滴が朝にあります 						
行動	制限ありません  シャワーできます 	洗面後、手術着に着替えてください 	床上安静となります  ※膝の曲げ伸ばし 足首の運動は行って下さい	座位ができます 午後より可能なら歩行できます  全身を清拭します タオルを2枚ご用意下さい 	歩行できます  発熱がなければシャワー できます(シャワーが無理な場合は清拭をします) 看護師がシャンプー します  			シャワーできます 	シャワーできます 	退院となります  シャワーできます (入浴は主治医の許可が出るまで できません) 	
説明	手術に必要な物品を確認します 医師より説明 手術と治療 計画について  担当麻酔科医師より説明 麻酔について  薬剤師より説明 お薬について  看護師より説明 入院生活について 	看護師より説明 (家人の方に) 手術室の場所と 入室方法の説明 	看護師より説明 早期離床の必要性について  ※許可あるまで ウォシュレット使用禁止			看護師より説明 排尿時の腹圧のかけ方について 		医師より説明 退院後の治療について  看護師より説明 退院後の療養生活 について 			

- *入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
- *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
- *入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。